



2022年7月14日

各 位

会 社 名 東洋電機製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡部 朗
(コード番号 6505 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営企画部長 中西 俊人
(TEL 03-5202-8122)

**2022年5月期 通期連結業績予想と実績との差異ならびに営業外収益、特別損失
および法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ**

2022年1月12日に公表いたしました2022年5月期の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。また、営業外収益、特別損失および法人税等調整額(益)の計上について併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年5月期 連結業績予想と実績との差異
(2021年6月1日～2022年5月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 33,000	百万円 250	百万円 600	百万円 700	円 銭 78.29
実 績 値 (B)	30,158	171	766	△930	△104.02
増 減 額 (B - A)	△2,841	△78	166	△1,630	
増 減 率 (%)	△8.6	△31.2	27.7	—	
(参考) 前年実績 (2021年5月期)	百万円 33,143	百万円 423	百万円 757	百万円 977	円 銭 109.38

2. 連結業績予想と実績の差異

売上高については、新型コロナウイルス感染症が想定以上に長期化した影響を受け、交通事業、産業事業および情報機器事業ともに計画を下回ったことから301億58百万円(8.6%減)となりました。

営業利益については、特に産業事業において、生産高の不足および部材価格の高騰に伴う利益率の低下等に加え、電動化への急速な変化による自動車開発用試験機の設備導入計画見直し等の影響を受けたことから、計画を下回り、1億71百万円(31.2%減)となりました。

経常利益については、中国における持分法適用関連会社(常州朗鋭東洋伝動技術有限公司、北京京車双洋轨道交通牽引設備有限公司)の業績が堅調だったことや為替差益の計上があったことなどから計画値を上回り7億66百万円(27.7%増)となりました。

当期純利益については投資有価証券売却益や為替換算調整勘定取崩益があったものの、産業事業において事業用資産の減損損失を22億56百万円計上したことや、関係会社出資金評価損および投資有価証券評価損を計上したことなどから計画値を大幅に下回り9億30百万円の損失となりました。

3. 営業外収益の計上

中国における持分法適用関連会社の業績が堅調なことから当連結会計年度において2億42百万円を持分法による投資利益に計上いたしました。また、為替相場が円安に進行したことにより2億27百万円を為替差益に計上いたしました。

4. 特別損失の計上

産業事業において、事業環境および今後の見通しを勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討いたしました。その結果、固定資産の一部について帳簿価額を回収可能額まで減額し、当連結会計年度において22億56百万円を減損損失として計上いたしました。また、当社グループの中国における非連結子会社である常州洋電展雲交通設備有限公司について、同社の経営成績および財政状態を勘案した結果、当連結会計年度において1億55百万円を関係会社出資金評価損として計上いたしました。

5. 法人税等調整額（益）の計上

当社は今後の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2022年5月期において、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額（益）7億3百万円を計上いたしました。

6. 期末配当について

当社は、配当による安定的な株主還元を経営の重要施策の一つと位置付けております。期末配当は2021年7月15日に公表しております配当予想を据置き、1株当たり30円を予定しております。

以 上